

新規導入しました

CT

X線コンピュータ断層撮影装置
80列マルチスライスCT

より安全に、より 美濃病院の検査装置

美濃病院では、本年1月の電子カルテ導入に続き、これにより検査時間の短縮やからだへの負担が軽減できるようになりました。これらの最新機器を最大限に活用して地域の「医療の質」向上に努めてまいります。

良い診断のために が新しくなりました

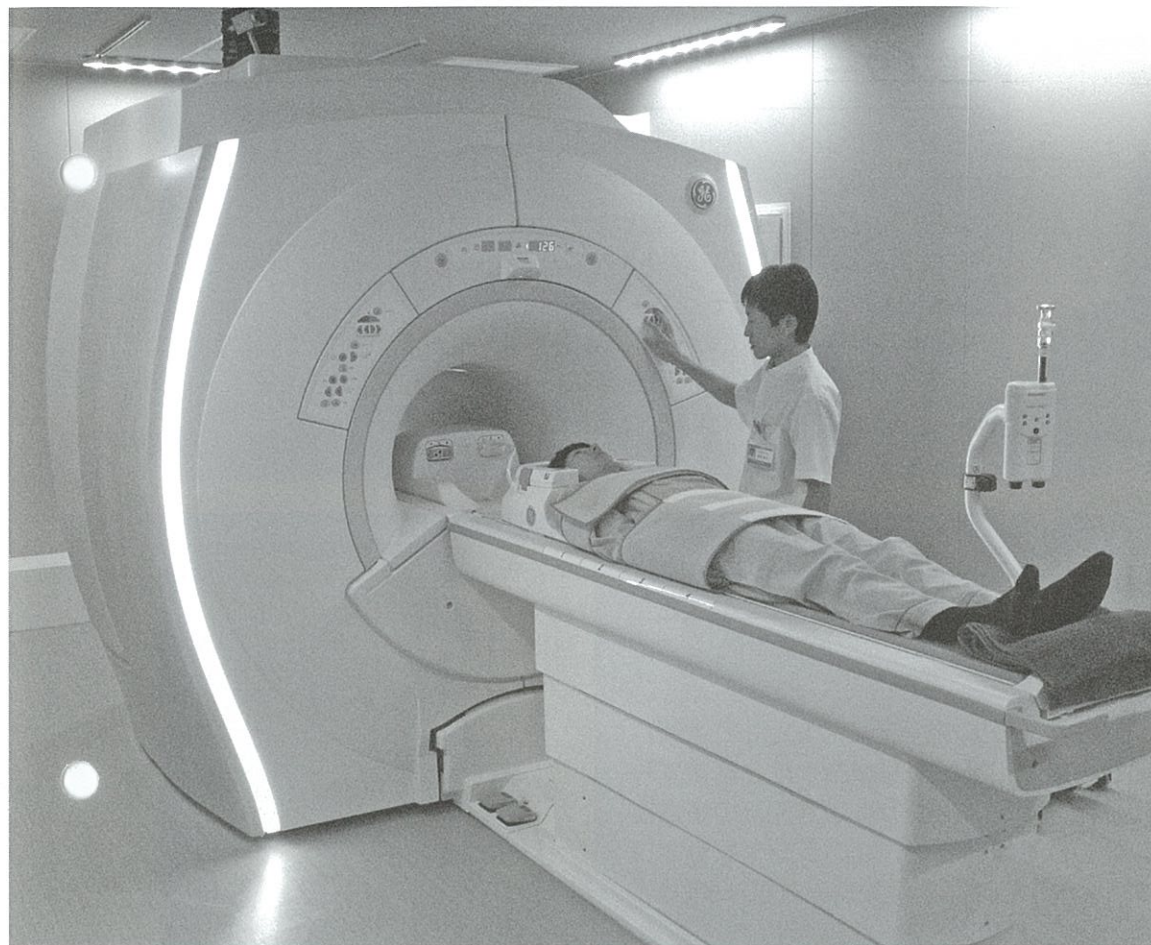
7月にCT、9月にMRIを最新の機器に更新しました。これにより検査時間の短縮やからだへの負担が軽減できるようになりました。これらの最新機器を最大限に活用して地域の「医療の質」向上に努めてまいります。

新規導入しました

MRI

磁気共鳴画像断層撮影装置
1.5T(テスラ) 超電導型 16chMRI

今回導入したCT装置は、1回転で80枚(160スライス)の画像が収集できる80列マルチスライスCTというもので、1枚あたりのスライス厚が以前の4分の1、0.5ミリメートルと極めて薄いため、体内の小さな病変も詳細に描出することができます。また、撮影スピードが従来の装置に比べ3倍から5倍速くなり、胸部から骨盤部までを約10秒間で撮影できるため、以前より楽に検査を受けていただくことができます。さらに使用する放射線量も従来の2分の1と大幅に少なくなり、検査を受けられる方にとって、優



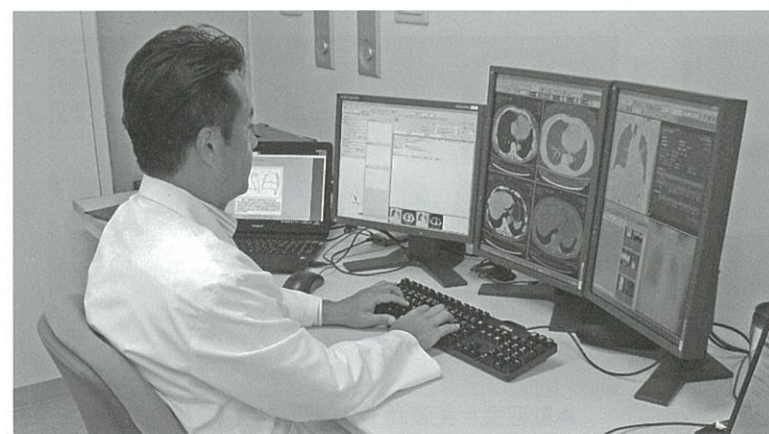
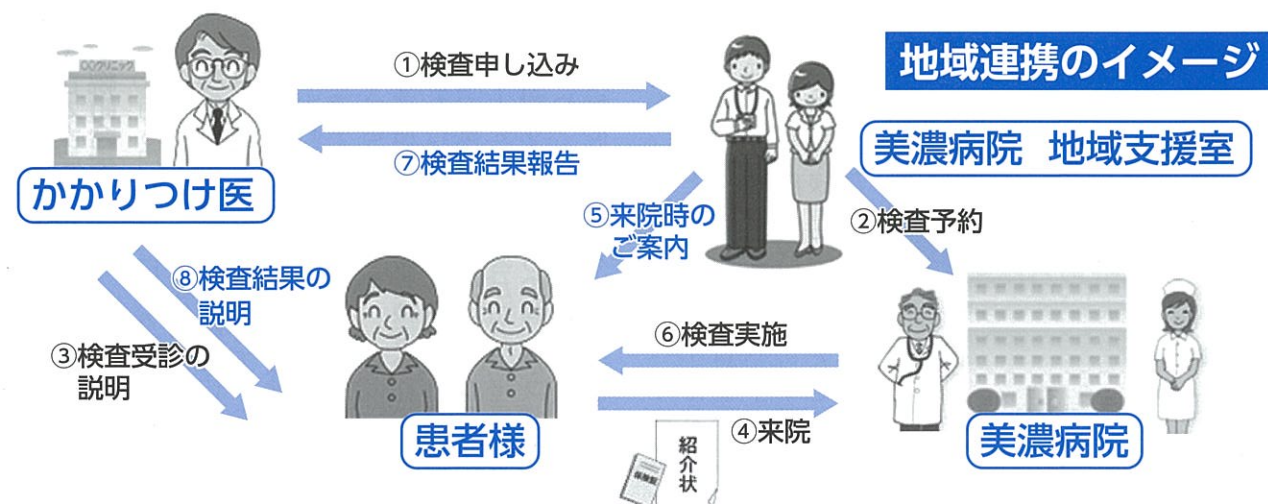
MRI検査の診断能力を向上させるために1.5テスラ(1500ガウス)の装置を導入しました。MRI検査は時間がかかる検査ですが、最新装置の導入により従来30分かかっていた頭部の検査を

10分から15分で行うことができるようになりました。また、詳細な画像が得られるようになったため、旧装置では診断が難しかった内臓や血管の病気の診断が可能となりました。

かかりつけ医をはじめとした地域医療機関でCT・MRI検査が必要となった場合には、かかりつけ医からの依頼により、美濃病院で検査を受けていただけます。検査結果は1週間以内にかかりつけ医の元に届けられます。これにより、医療機関を変更することなく、かかりつけ医に受診しながら質の高い画像診断を受けることが可能です。

地域医療機関と連携しています

しい装置」となりました。



撮影した画像の中で、診断が難しいケースや地域の医療機関から依頼された検査の画像は、岐阜大学医学部附属病院の放射線科専門医が画像診断を行っています。最新機器により撮影された詳細な画像を専門医が診ることで、より正確な診断ができる体制をとっています。

専門医が画像診断を行っています